

歩こう！未体験のケイケン。

空海の道

高野山へ至る参詣道「町石道」には、「接待場（和歌山県かつらぎ町^{きょうらじ}教良寺）」という場所があります。そこには弘法大師空海の石像があり、この石像を拝むと遠く高野山奥の院の御廟を望むと言われています。その場所で毎年御影供（※）に、村の有志の人たちが高野詣の人々に握り飯や湯茶の接待をしたことから、「接待場」と言い伝えられています。

大正14年に南海高野線が高野下まで開通し、椎出・極楽橋間には高野登山自動車が運行されたことに伴い、町石道を歩いて高野詣をする参拝者が激減したそうです。お接待もそれに伴い行われなくなりました。

昭和、平成と時が過ぎ、令和になって、地元教良寺地区のみなさんがこの度お接待を復活させることになりました。

語り部の案内で、空海の道（世界遺産 高野参詣道 町石道）を歩きませんか？

高野山では、ツアー参加者だけの特別法要を行います。高野山の荘厳な雰囲気、参詣道の森林の清々しさ、地域の方のお接待のあたたかさ、一步一步自分自身と向き合い、弘法大師空海を感じながら歩く特別な一日です。

※御影供とは

真言宗の開祖弘法大師空海は835年3月21日に入定（にゆうじょう）しました。この入定の日に行う法会を「御影供」といい、真言宗では大師の恩恵への感謝を表すために御影（みえい）＝（おすがた）をかざり、法要を行います。3月21日の入定の日に行う法要を正御影供（しょうみえく）、3月以外の月の21日に行う法要を月並御影供（つきなみみえく）と呼んでいます。旧暦の3月21日は旧正御影供といい、前夜祭である、御遠夜（おたいや）には伽藍境内に花とろうそくを備え、年に一度しか内拝することができない御影堂内で御影に手を合わすことができます。

★初めてでも安心！

語り部の案内つきです。もしものリタイアは車で送迎します。

★弘法大師空海の高野山へ！

泊まってゆっくり過ごすのがおススメ。前日・当日の宿泊施設をご紹介します。

大きなお荷物は預かります！

★特別な体験！

95年ぶりに復活する地域のお接待。高野山では、特別法要がございます。

■日 時：令和2年3月21日(土) 正御影供の日 雨天決行（警報発令時は中止）

■集 合：道の駅柿の郷くどやま（南海電鉄「九度山」駅下車、徒歩約15分）（和歌山県伊都郡九度山町入郷5-5）

■参加費：11,000円（税込み）語り部案内、軽食、昼食（お弁当とお茶）、保険代、特別法要、荷物預かり、万が一途中でリタイアされた際の車での送迎含む。

■申込〆切：3月4日（水）

※お申込みいただいた方に詳細資料及び参加費の振込先のご案内をお送りいたします。車でお越しの方には、駐車場をご案内します。

■定 員：30名

■行 程：約20km、高低差約700m

7:00～7:45 受付 道の駅柿の郷くどやま

15人1グループに分かれ、語り部と一緒に歩きます。

世界遺産 慈尊院、丹生官省符神社を参拝します。

接待場 95年ぶりの地域の方によるお接待があります（軽食）。

二ツ鳥居より世界遺産 丹生都比売神社を遥拝します。

矢立 昼食（お弁当・お茶）をいただきます。

16:00 高野山中門到着

16:15 特別法要

16:45 中門解散

■対 象：高校生以上（15歳以上の方）、小中学生の申し込みは保護者同伴で受付いたします。

■服 装：長袖、長ズボン、帽子、トレッキングシューズなど歩きやすい(滑りにくい)靴

■持ち物：雨具（カッパ）、飲み物、レジャーシート、リュックサック

※荷物は、集合場所でお預かりし、ゴールまたは宿泊施設へお届けします。

■申込・問合せ：一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー

和歌山県橋本市古佐田 1-5-9

T E L : 0736-33-3922

F A X : 0736-33-3984

E-mail : info@koya36.com

※申込フォームはこちら <https://sites.google.com/koya36.com/miekuchoishi>